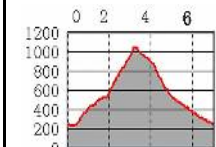
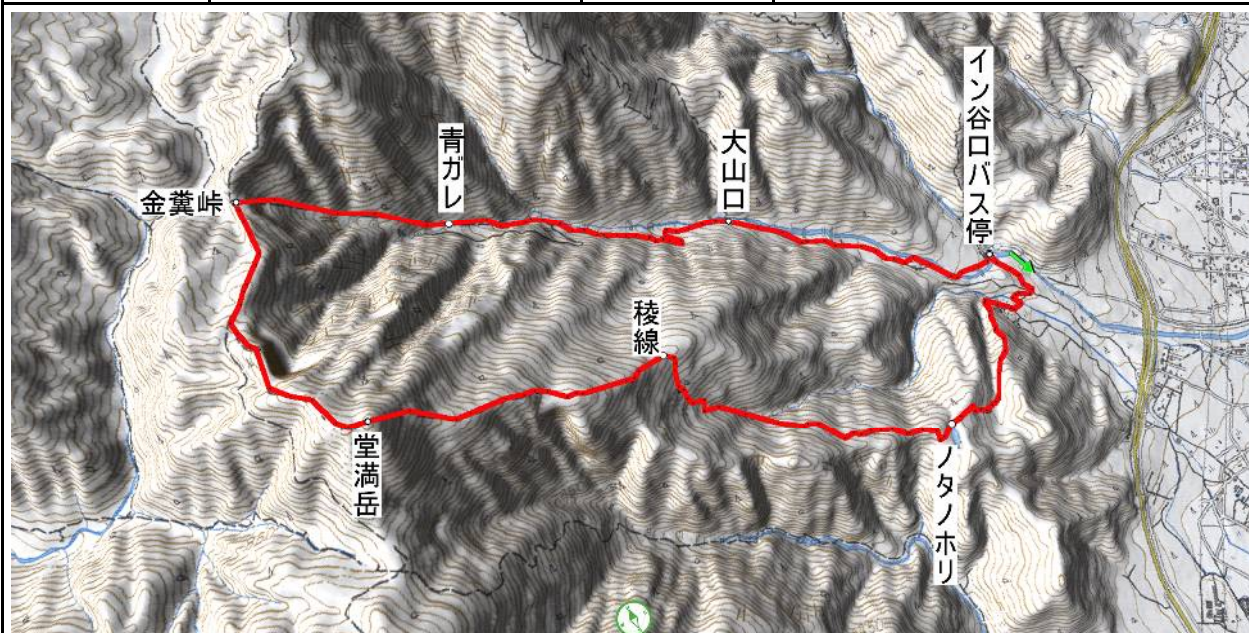


ゆっくり登山02: 比良 堂満岳

コース	イン谷口バス停 →1.2km/48' →ノタノホリ→1.2km/61' →稜線→0.8km/67' →堂満岳 →1.0km/25' →金糞峠→0.6km/27' →青ガレ→1.1km/32' →大山口→1.1km/24' →イン 谷口バス停		
水平距離	7.0km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
累計高低差	登り844m、下り844m		
標準歩行時間	4:44		
実績歩行時間	4:35		



山行報告

山行日 2018・5・6 (日) 天候 晴れ 参加者 16名

行 動 京都駅8:18⇒比良駅8:58~9:10⇒イン谷口バス停9:20~29⇒ノタノホリ10:15~22⇒
稜線手前11:09~20→850m地点(昼食)11:42~19→堂満岳12:58~16→金糞峠13:52
~06→青ガレ14:39→大山口15:18→イン谷口バス停15:44~00⇒比良駅16:10

記 録

ゴールデンウィークの最終日にシャクナゲを求めて堂満岳に登った。

健康登山で比良山系のコースを歩くのは厳しく敬遠していたが、比良駅からバスでイン谷口まで行き、堂満岳東尾根を登り、金糞峠を経て正面谷をイン谷口まで下るのであれば7km・4時間40分程度のコースなので花の季節に登ることにした。

土・日に限り運行されている9:10発イン谷口行の江若バスは超満員で出発。登山準備を整えて9:30に出発した。ノタノホリに着くまでに数パーティに追い越されたがゆっくり登山なので気にせず私たちのペースで歩いた。

ノタノホリ直前で小休止。緑の木々に包まれた静かなノタノホリは幽玄というより何か不気味な雰囲気を感じさせている。ゆっくりペースで杉林や雑木林のジグザグ道を260m登り稜線の手前で少し休んだ後、標高850mの平坦地で昼食をした。爽やかな新緑の登山道で淡い色の藤の花や鮮やかなレンゲツツジの花を見かけた。

昼食後はいよいよ200mの急登がはじまる。足元に咲くイワカガミを見ながら急坂をよじ登るとやがて待望のシャクナゲが見られるようになった。狭い堂満岳山頂周辺はシャクナゲの群生地だった。今年は花の時期が早く少し盛りを過ぎていたが十分楽しめた。ピークショットを済ませて金糞峠へ下った。この下山道でもシャクナゲやツツジが咲いていた。

金糞峠でストックを出して慎重に正面谷を下った。30分ほどで無事青ガレを下山できた。右岸沿いの道を40分歩いて大山口で北比良峠からの道と合流し、少し下った広場で16時発のバスに合わせた時間調整休憩をした。比良駅のホームから堂満岳の山容がクッキリと見えた。

ゆっくり登山の2回目なので歩行時間の分析をした。休憩時間を除く正味歩行時間は4:35、カシミール時間は4:44、昭文社地図時間は4:45でほぼ地図時間で歩いている。

1.2倍時間をかけて歩くゆっくり登山としては花や景色を楽しむ休憩時間をもう少し増やした方がよいと思った。